

一般社団法人福岡県臨床工学技士会

『学術論文作成の手引き』

一般社団法人福岡県臨床工学技士会 学術委員会

1. 『会誌投稿に関する規定』

一般社団法人福岡県臨床工学技士会（以下「当会」という）は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

1) 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿の種類は、以下のとおりとする。

- ①福岡県臨床工学会の抄録集に掲載・発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために選択され、投稿するもの。
- ②福岡県臨床工学会の抄録集とは関係なく、投稿資格者の自由意志により投稿するもの、及び会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものが投稿するもの。

2) 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「当会」会員とする。

3) 原稿の作成

一般社団法人福岡県臨床工学技士会『学術論文作成の手引き』に準拠すること。

4) 論文の体裁

一般社団法人福岡県臨床工学技士会『学術論文作成の手引き』に準拠すること。

5) 著作権

会誌掲載されたすべての論文の著作権は、「当会」が保有するものとする。

6) 原稿の送付

一般社団法人福岡県臨床工学技士会『学術論文作成の手引き』に記載の事務局宛、または事務局が指定する会誌の編集委託先に郵送されるものとする。なお、投稿論文は返却しない。

7) 校正

投稿されたものに対する校正は、編集委員会が査読し著者に依頼するが、著者校正は原則一回とする。

8) その他

論文の内容は臨床工学に関するもの、会員に対し有益な内容で他誌に発表されていないもの、あるいは投稿中でないものに限るとするが、その「会誌」経の掲載の可否は会誌編集委員会にて審議・決定するものとする。

2. 『論文作成ガイドライン』

福岡県臨床工学会への論文投稿にあたり、論文の体裁、論文の構成、受け付ける論文の種類を示します。このガイドラインを参考に又、『会誌投稿に関する規定』に準拠した論文をご投稿ください。

1) 論文の体裁

①原稿の書き方

福岡県臨床工学会への論文投稿原稿は必ずワードプロセッサを使用してください。投稿は印刷した原稿のほか、デジタル原稿も提出してください。提出するファイルの形式はマイクロソフト（以下、MS）ワード形式を推奨します。

原稿用紙のページ設定は横書き A4 で一行 35 文字×35 行とし行間を十分にあげてください。文中のフォントは、編集時の文字化けなどを防止するため日本語は MS 明朝体、アルファベットは Century を使用してください。読点はカンマ「,」、句点はピリオド「.」を使用してください。頁番号を各頁下部に記載してください。

②図表の書き方

図表は、A4 用紙に一点ずつ描くか貼りつけてください。図表の大きさは掲載を希望する大きさで描くのが原則です。ただし、編集時に体裁が合うように拡大・縮小することがあります。写真は図として取扱います。

図は、パワーポイントやイラストレーターなどの絵画用ソフトを使用して描くことを推奨しますが、手書きでも受け付けます。ただし、図中の文字の手書きは避けてください。図中のフォントは、原則として写真製版しますので使った文字がそのまま印刷されます。日本語は MS ゴシック、アルファベットは Arial など見やすい文字を使用してください。図の表題は、図の下に図番号とともに記入します。

表は、MS エクセルやワードなどで作成することを推奨します。表内に使用するフォントは原則として日本語は MS 明朝体、アルファベットは Century を使用してください。

表の表題は表の上に表番号とともに記入します。

2) 原稿作成

①論文の種類（「4）福岡県臨床工学会で受け付ける論文の種類」参照）

投稿する論文の種類を記載します。

- ・原著論文（学術委員会の審査によって掲載されます）
- ・総説（解説の依頼原稿など）
- ・研究報告、症例報告、発表論文（大会での発表内容の投稿）
- ・その他

②表題

サブタイトルには前後にハイフンをつけます。

原著論文では英文のタイトルも記載します。

例 低温状態での...血流の検討 —流体 3 次元映像化装置の...おける応用—

③著者名

著者の所属が異なる場合には右肩に数字をつけて区別できるように記載します。

原著論文では英文での著者名も記載します。

例 鈴木一郎，山田次郎，青木三郎¹⁾，三井四郎²⁾

④著者の所属

著者の所属が異なる場合には右肩に数字をつけて区別できるように記載します。

(ワードの「書式」の「フォント」の「文字飾り」で上付きにします)

原著論文では英文での所属も記載します。

例 福岡臨床病院 臨床工学部，福岡 CE クリニック 透析センター¹⁾，
福岡臨床病院 腎臓内科²⁾

⑤筆頭著者の所属機関連絡先

郵便番号 所在地

施設名 所属

電話番号 Fax 番号

E メールアドレス

例 〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

福岡臨床病院 臨床工学部

TEL : 0948-43-8200 FAX : 0948-43-8201

Mail : info@fcet.or.jp

原著論文では英文での所属機関連絡先も記載します。

以上、①～⑤を第一頁に記載してください。

⑥要旨

原著論文では 600 文字以内の和文要旨と 200 文字以内の英文要旨

その他の論文では 400 文字以内の和文要旨

⑦索引用語

6 語以内 各語和文 10 文字以内、アルファベット 20 文字以内

以上、⑥、⑦を第 2 頁に記載してください。

⑧本文

「 5) 論文の構成」を参考に本文を記述してください。

文献の引用は本文の引用箇所の上に出現順に通し番号をつけてください。番号はワードの「書式」の「フォント」の「文字飾り」で上付きにします。

例 ...山田ら⁵⁾の研究では... ...との報告^{7,11)}もあるが... ...は数種の¹²⁻¹⁵⁾の結果が...

⑨項目の番号の表示方法

項目の番号は次の順序で用いる。ただし、項目が少ない場合はアラビア数字の記号から初めてもよい。

(注：() のない記号は本文と混同しないように点「.」を付すか 1 字分のスペースをあける)

I. II.

1. 2.

- 1) 2)
- (1) (2)
- ① ②
- A. B.
- a. b.

●本文の例

1. 目的

回路内部での血栓形成の原因として...

2. 対象と方法

1) 対象

本実験の対象は...の A 群 (表 1) ...

2) 方法

(1) 実験回路

実験回路 (図 1) は...

(2) 検討方法

得られた数値を t-検定で...

3. 結果

実験の結果を表 3 に示す...統計学的に有意な差が認められた.

4. 考察

我々の実験結果は山田ら⁵⁾の実験結果と異なるが、これは...と考えられる.

5. 結論

1) ...のための検証実験を行なった.

2) その結果は...であった.

3) この...は正しいと考えられる.

⑩文献

本文で引用した文献に番号をつけ簡条書きで記述します。

雑誌の場合

例 1) 著者名 (全員) : 論文名. 雑誌名 巻 (号) : 頁 (初頁-終頁), 西暦発行年

書籍の場合

例 2) 著者名 (全員) : 論文名. 書籍名 (編集名) : 頁 (初頁-終頁), 出版社, 西暦発行年
ホームページの場合

例 3) <http://www.fcet.or.jp/hp/>

⑪図表の表題原稿

本文に使用した表の表題を簡条書きにします。図表に説明書きが必要な場合にはここに記述します。

図番号 : 表題「説明」

表番号：表題「説明」

例 図 1：実験回路「血液は貯血槽からポンプで実験対象に導き，...を経てから再び貯血槽に戻る」

図 2：実験設備全景

図 3：実験結果（血流測定）...

表 1：実験対象

表 2：低温での各部の血流量...

⑫図原稿

図は、MS パワーポイントや MS エクセル、アドビイラストレーターなどで作成してください。手書きでもよいですが、図中の文字は手書きを避けてください。発表スライドをそのまま印刷することはできる限り避けてください。カラー印刷はできませんので、グラフなどはグレースケールで区別できるように配慮して作成してください。表の下部に表の表題を書き込んでください。

⑬表原稿

表示はMS ワードなどで下記のように Tab“タブ”と点線のみで簡単に書いたものでかまいません。発表スライドをそのまま印刷することはできる限り避けてください。表の上部に図の表題を書きこんでください。

例 表 6：温度による血流速の実験結果

対象“タブ”低温時血流速“タブ”高温時血流速“タブ” (mL/min)

A 群“タブ” 25.6“タブ” 26.6
B 群“タブ” 25.8“タブ” 33.2

3) 投稿方法

下記の要領で印刷原稿とデジタル原稿の双方を作成し提出してください。

①印刷原稿

投稿は図表を含む原稿（原著論文では原稿のほかに著者名、所属、連絡先を記載していない原稿のコピー2部、計3部）を印刷して提出してください。

②デジタル原稿

書き込み型コンパクトディスク（CD-R）などの記録メディアも同時に提出してください。送付する記録メディアには論文タイトルと筆頭著者名を明記してください。原則として原稿、記録メディアは返却しません。

原稿（テキスト部分）はワードプロセッサの原稿ファイル（MS ワード形式）を“筆頭著者”名+“論文”のファイル名（例 山田太郎論文）を付けて記録メディアに保存してください。同一年に複数の論文を福岡県臨床工学会に提出する場合には、論文が区別できるようにファイル名の最後に番号（例 山田太郎論文 2）を付けてください。

図は作成したソフトで JPEG 形式、GIF 形式、PDF 形式のいずれかに変換してください。手書

きの場合もスキャナーなどで同様の形式に変換してください。“図”+相当する番号（例 図 2）のファイル名で同一記録メディアに保存してください。

表を MS ワードや MS エクセルで作成した場合は、このファイルも提出願います。表は“表原稿”のファイル名で同一記録メディアに保存してください。それ以外の方法で作成した場合にはスキャナーなどで JPEG 形式、GIF 形式、PDF 形式とし、“表”+相当する番号（例 表 6）のファイル名で同一記録メディアに保存してください。

③提出前のチェック

下記のチェックリストに従い、確認のうえ送付してください。

- 第 1 頁には論文の種類、題名、著者名、所属、連絡先が明記されていますか？
- 第 2 頁には要旨が 400 文字（原著は 600 文字）以内で記載されていますか？
- キーワードは規定どおり明記されていますか？
- 本文は 1. 1) (1) ①の見出しで記述されていますか？
- 文献は規定の表記方法で箇条書されていますか？
- 原稿には頁数が打たれていますか？
- 図表表題原稿はありますか？
- 原稿のコピーが 2 部ありますか？
- 原稿は左上部に大型のステッplerや綴じ紐などでまとめられていますか？
- デジタル原稿はワード形式で著者名のファイル名で保存してありますか？
- 図表もデジタル化して指定のファイル形式で保存されていますか？
- デジタル原稿の記録メディアに論文表題と筆頭著者名が記されていますか？

④送付

原稿（原著論文は原稿のほかにコピー2部）と記録メディアを送付記録の残る書留郵便あるいは宅配便で下記の事務局、または事務局が指定する会誌編集委託先にお送りください。

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 飯塚病院 臨床工学部内
一般社団法人福岡県臨床工学技士会 事務局 宛
TEL 0948-43-8200 FAX 0948-43-8201
E-mail info@fcet.or.jp

4) 福岡県臨床工学会で受け付ける論文の種類

①原著論文 (original)

自身の研究成果をまとめたものが原著論文です。何らかの新知見を含むことが必要です。一般社団法人福岡県臨床工学技士会で最も権威のある論文です。原著論文として投稿された場合には、一般社団法人福岡県臨床工学技士会学術委員会で審査して掲載を決定します。

②総説 (review)

ある研究課題についての歴史的展望と現在の動向を紹介するのが総説です。多くの参考文献を添

えるのが特徴です。

③研究報告、症例報告、発表論文等 (report)

珍しい臨床経験や新しい医療機器の使用経験、研究のまとめなどの報告です。福岡県臨床工学会の発表内容のまとめなども論文として受け付けます。

5) 論文の構成

実験的研究論文では、各章の標題として、通常下記の用語が用いられます。

以下に書く標題の内容について説明します。総説は論旨が明確であれば、4) から 8) の各項については、これにとらわれずに構成されてもかまいません。

①論文題名 (title)

題名だけで内容がほぼ想像できて簡潔なものが理想です。題名に副題 (subtitle) を付けることはなるべく避けたほうが良いとされていますが、副題を付けることにより、論文全体の内容を示す場合もあるので、絶対に不必要とは言えません。

②要旨 (synopsis)

実験やシステムの開発、新しい技術、理論などを本文とまったく独立のものとして書きます。ここには議論や解釈、文献の参照や図表は使わずに、論文の中心課題と本文の要点を手短かに書いた文章でまとめます。要旨と抄録は同意語で用いられています。

③索引用語 (keywords)

本文内容に関係のある単語を数個列記します。単語は題名に含まれていなくて、論文の要素として重要なものがよいとされています。

④緒言 (introduction)

研究の目的や目標 (新しい理論や原理の論究、原理の応用、装置やシステムの開発、改良など)、問題の定義、論文で取り扱う範囲、論文の背景、歴史的概観、関連研究などを述べます。研究史を含ませることがあり、研究方法が新しく開発したものであれば詳しく説明します。緒言の代わりに『まえがき』、『はじめに』を使用することもあります。ただし、これに対応して『まとめ』、『おわりに』を用います。

⑤研究材料と方法 (materials and methods)

研究計画、研究の状態や条件、研究対象、対象を選ぶ方法、介入方法、すべての観察項目の明示、データ評価の統計的処理法について詳しく記載します。

⑥研究結果 (results)

客観的データで、文として過去形で書き、本文のほかに図や表を含みます。

⑦考察 (discussion)

他人の成績 (文献) と比較しながら、自分の成績の意味を説明し、自分の考えを主観的記述で、現在形で書きます。

⑧結論 (conclusion)

実験成績と考察のまとめを主としますが、実験方法に少し触れる場合もあります。しばしば箇条書きにされます。統括的なことを述べ、序論で提起した問題に本論でどのように答えたかをまとめるとともに、理論や結果の正当性、有意性 (利点のみならず欠点も含む)、他の研究との違い、

応用性、今後の課題などを述べます。『結論』は、独自の理論や原理を扱った論文に用いることが多く、『まとめ』、『おわりに』は、解説的、一般的あるいは実用的な論文などで、考察の結果を一言で表現できる場合や緒言で何か疑問を提起し、それに対して yes no で結ぶときに使われています。

⑨文献 (references , literature)

論文に関係し、本文中で引用したものを書きます。文献は全編を通じて出てきた人名とその論文の出所を記録します。